

平成26年度奈良県市町村民経済計算

平成29年7月7日

奈良県総務部知事公室統計課

目 次

I	平成26年度奈良県県民経済計算(名目)の概要	P 1
II	地域別にみた平成26年度奈良県市町村民経済計算の概要	P 2
1	地域内総生産(名目)	P 2
1.1	地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)	P 2
1.2	地域内経済活動別構成比(産業構造①)	P 3
1.3	地域内総生産の経済活動別特化係数(産業構造②)	P 4
2	地域別の市町村民所得(名目)	P 6
2.1	地域別市町村民所得(総額)	P 6
2.2	地域別の1人当たり市町村民所得	P 7
III	市町村別にみた平成26年度奈良県市町村民経済計算の概要	P 8
1	市町村内総生産(名目)	P 8
1.1	市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度	P 8
1.2	市町村ごとの総生産(名目)	P 8
1.3	市町村内総生産の経済活動別構成比	P 9
2	市町村民所得(名目)	P 10
2.1	市町村ごとの市町村民所得(総額)	P 10
2.2	市町村ごとの1人当たり市町村民所得	P 11

平成26年度市町村GDP統計(奈良県市町村民経済計算)について

(目的)

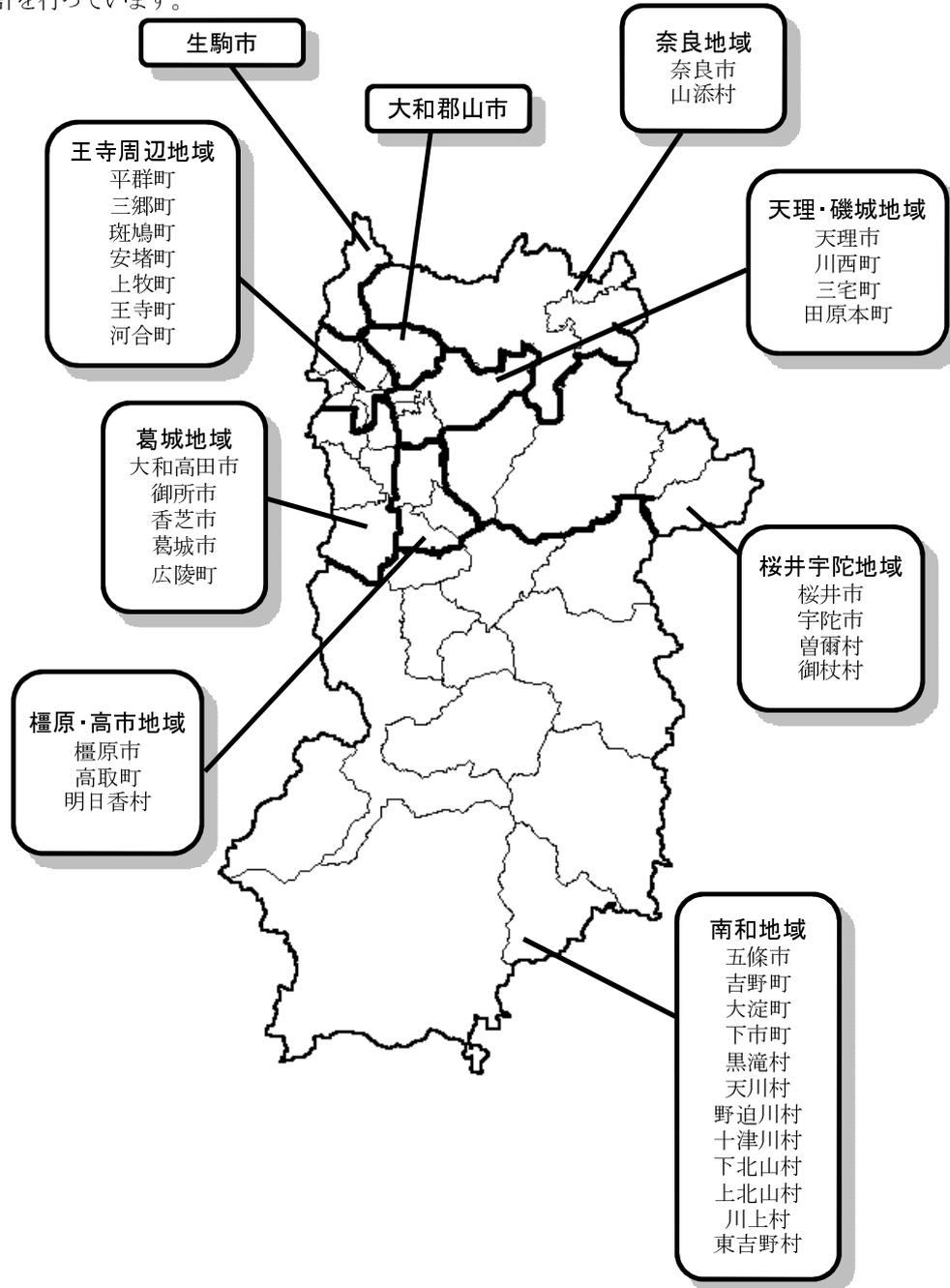
奈良県市町村民経済計算は、市町村における経済の規模、産業構造、所得水準などを包括的に把握することを目的として、市町村ごとの市町村内総生産(GDP)及び市町村民所得を推計したものです。

(推計方法)

奈良県県民経済計算(平成26年度版、平成29年3月公表)を経済センサス、事業所・企業統計調査、商業統計調査、工業統計調査など各種統計データで市町村ごとに按分することにより推計しました。

(地域区分)

平成18年4月1日現在の「奈良県広域市町村圏」を基準として、県内を2市と7地域に区分し、地域ごとにも推計を行っています。



※地域区分は、平成18年4月1日現在の広域市町村圏を基本としていますが、地理的状況から、山添村は奈良地域として区分しています。

I 平成26年度 奈良県県民経済計算(名目)の概要

県全域

- 県内総生産(名目) : 3兆5,407億円 (国 489兆6,234億円)
- 経済成長率(名目) : 0.7% (国 1.5%)
- 1人当たり県民所得 : 253万4千円 対前年度比 1.0%
- (参考) 1人当たり国民所得 286万8千円 対前年度比 +1.7%

平成26年度の県経済成長率(名目)は、0.7%と2年連続のプラスとなった。卸売・小売業や金融・保険業などが減少したが、電気・ガス・水道業や運輸業などが増加したことによる。

1人当たり県民所得は、253万4千円で、対前年度比1.0%と3年連続のプラスとなった。1人当たり国民所得(286万8千円)に対して88.4%の水準となった。

図1 経済成長率(名目)の推移

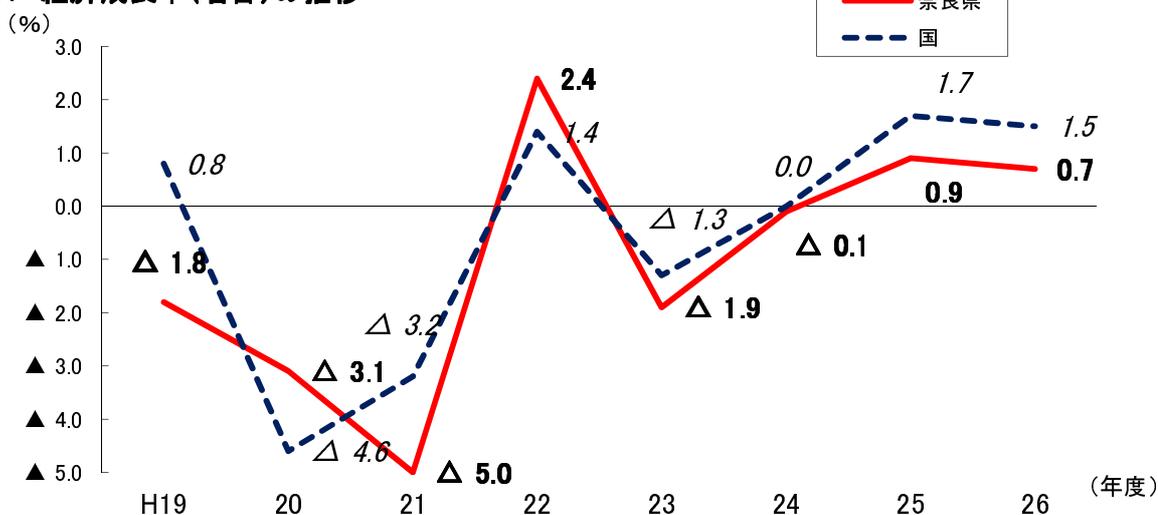


図2 1人当たり県(国)民所得の推移

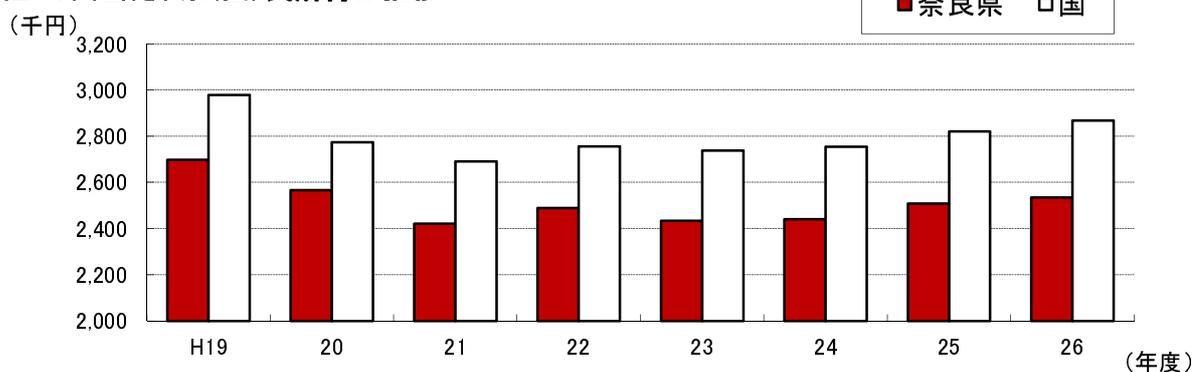


表1 経済成長率等の推移

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
経済成長率(名目)	奈良県	△ 1.8	△ 3.1	△ 5.0	2.4	△ 1.9	△ 0.1	0.9	0.7
	(%) 国	0.8	△ 4.6	△ 3.2	1.4	△ 1.3	0.0	1.7	1.5
県(国)内総生産(名目)	奈良県	37,707	36,540	34,696	35,543	34,878	34,848	35,177	35,407
	(県:億円、国:10億円) 国	513,023	489,520	473,996	480,528	474,171	474,404	482,430	489,623
1人当たり県(国)民所得	奈良県	2,698	2,566	2,421	2,489	2,434	2,440	2,508	2,534
	(千円) 国	2,978	2,773	2,690	2,755	2,737	2,754	2,821	2,868

Ⅱ 地域別にみた平成26年度奈良県市町村民経済計算の概要

地域別

1 地域内総生産(名目)

1.地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

○ 経済成長率(対前年度増加率)は、5地域でプラスとなった。

王寺周辺地域は+6.7%のプラス成長で製造業と建設業が大きく寄与した。

図3 地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

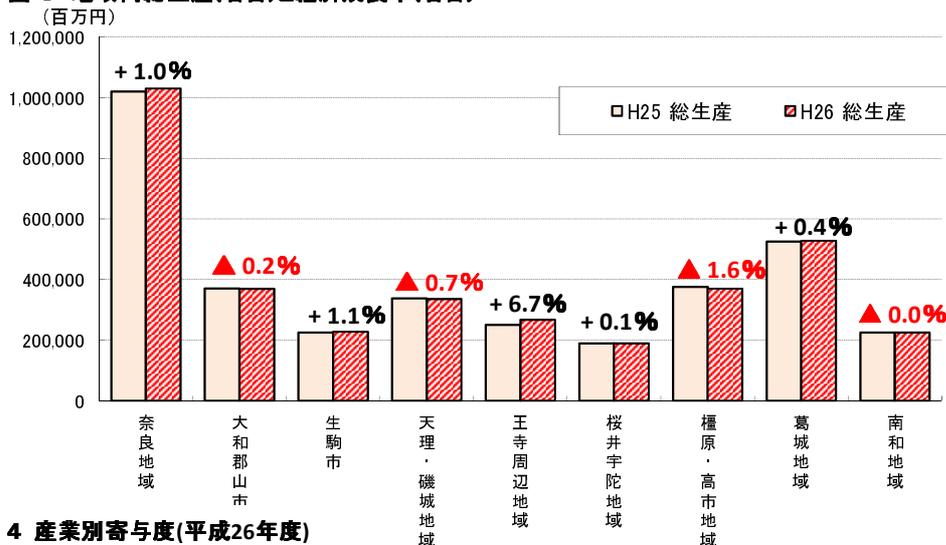


図4 産業別寄与度(平成26年度)

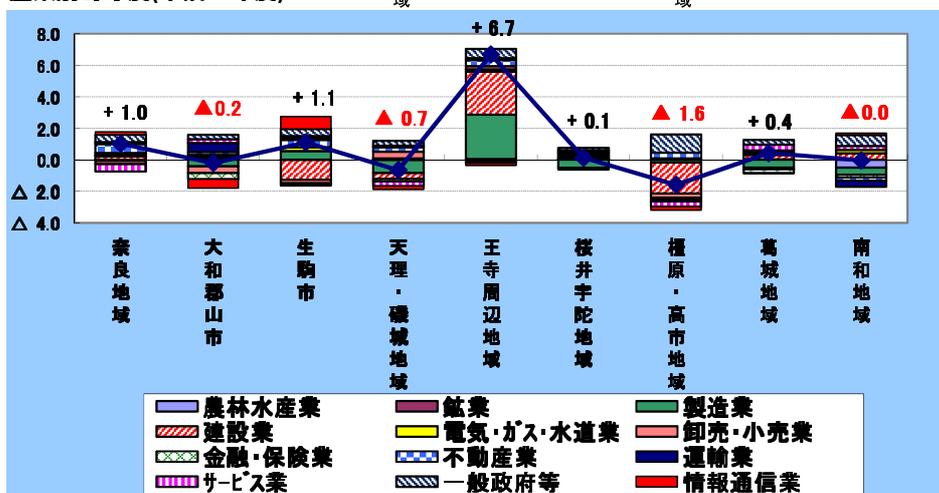


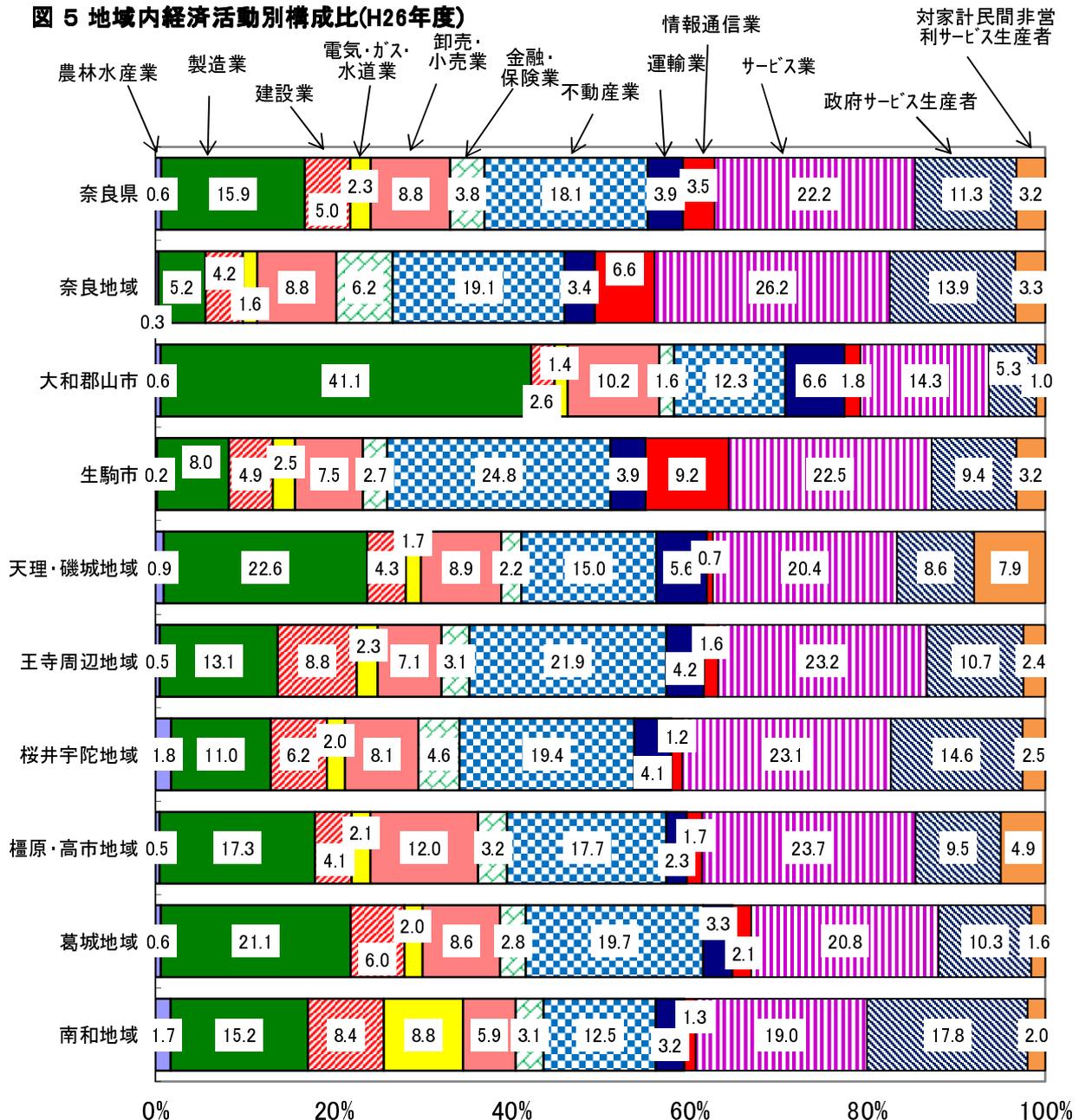
表2 地域内総生産の推移

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	実数(百万円)	実数(百万円)	前年度比(%)	実数(百万円)	前年度比(%)									
奈良県	3,654,001	3,469,586	▲5.0	3,554,306	2.4	3,487,826	▲1.9	3,484,796	▲0.1	3,517,701	0.9	3,540,714	0.7	
奈良地域	1,088,792	1,052,186	▲3.4	1,038,473	▲1.3	1,033,232	▲0.5	1,022,925	▲1.0	1,019,658	▲0.3	1,030,007	1.0	
大和郡山市	443,505	402,772	▲9.2	423,228	5.1	377,925	▲10.7	370,886	▲1.9	370,108	▲0.2	369,345	▲0.2	
生駒市	216,242	208,469	▲3.6	216,598	3.9	219,201	1.2	220,397	0.5	225,238	2.2	227,732	1.1	
天理・磯城地域	333,617	309,382	▲7.3	325,225	5.1	322,019	▲1.0	332,307	3.2	337,420	1.5	335,204	▲0.7	
王寺周辺地域	251,320	243,230	▲3.2	245,629	1.0	244,687	▲0.4	243,849	▲0.3	250,185	2.6	266,917	6.7	
桜井宇陀地域	206,501	197,138	▲4.5	195,662	▲0.7	191,258	▲2.3	190,646	▲0.3	189,206	▲0.8	189,437	0.1	
橿原・高市地域	374,080	347,558	▲7.1	372,996	7.3	361,305	▲3.1	369,716	2.3	375,779	1.6	369,807	▲1.6	
葛城地域	510,814	486,902	▲4.7	517,641	6.3	511,885	▲1.1	510,634	▲0.2	525,330	2.9	527,560	0.4	
南和地域	229,130	221,949	▲3.1	218,854	▲1.4	226,314	3.4	223,436	▲1.3	224,777	0.6	224,696	▲0.0	

2.地域内経済活動別構成比（産業構造①）

- 奈良地域 サービス業の割合が高い
- 大和郡山市 製造業の割合が4割以上と高い
- 生駒市、王寺周辺地域、葛城地域 ベッドタウンとして発展してきたため不動産業の割合が高い
- 南和地域 政府サービス生産者の割合が高い

図5 地域内経済活動別構成比(H26年度)



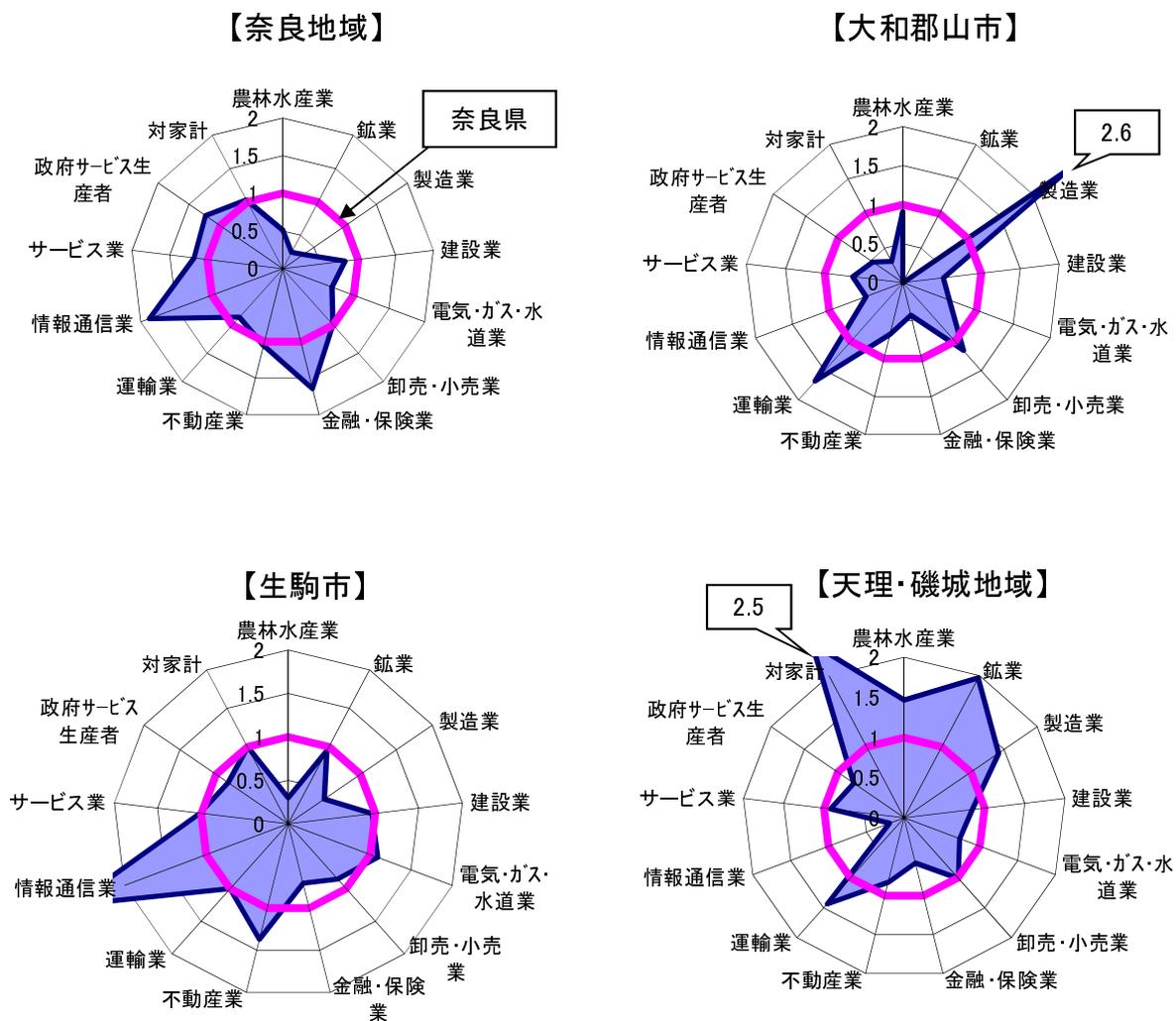
※鉱業は、県全体の構成比が0.05%未満のため非表示。

3.地域内総生産の経済活動別特化係数（産業構造②）

奈良県全体と比較して特化している(特徴的な)産業

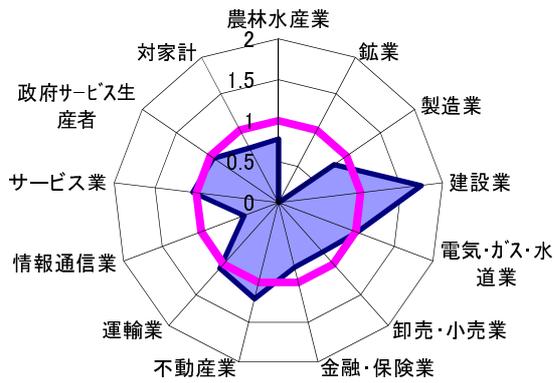
- 奈良地域 金融・保険業、情報通信業、サービス業
- 大和郡山市 製造業、運輸業
- 生駒市 情報通信業、不動産業
- 天理・磯城地域 農林水産業、鉱業、製造業、運輸業、対家計民間非営利サービス(≒宗教)
- 王寺周辺地域 建設業、運輸業、不動産業
- 桜井宇陀地域 農林水産業、建設業、政府サービス生産者
- 橿原・高市地域 卸売・小売業、製造業、対家計民間非営利サービス生産者(≒宗教)
- 葛城地域 鉱業、製造業、建設業
- 南和地域 農林水産業、鉱業、建設業、電気・ガス・水道業、政府サービス生産者

図 6 地域内総生産の経済活動別特化係数(平成26年度)

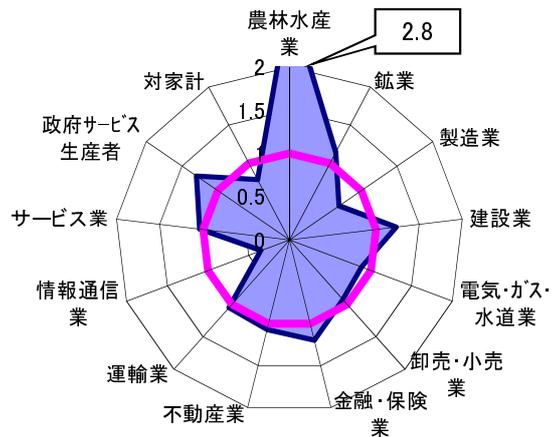


※) 対家計＝対家計民間非営利サービス生産者

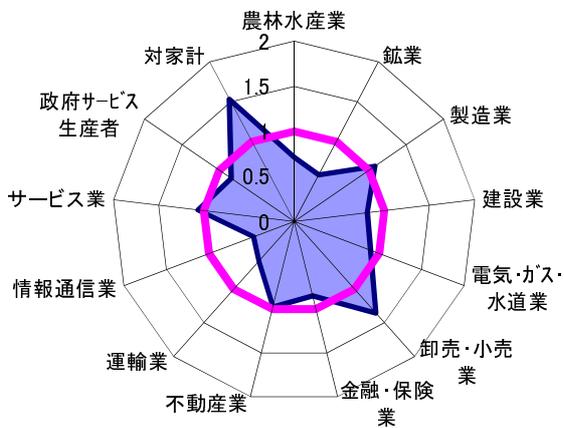
【王寺周辺地域】



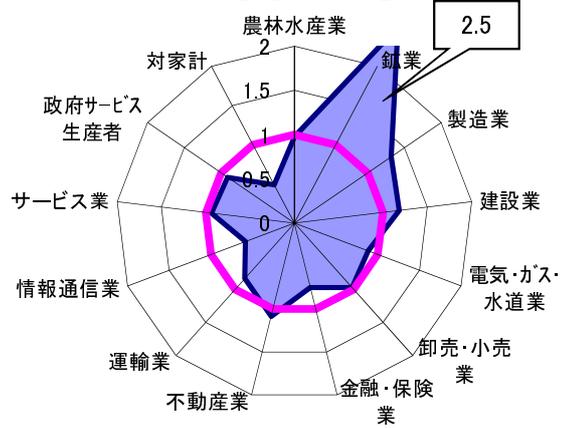
【桜井宇陀地域】



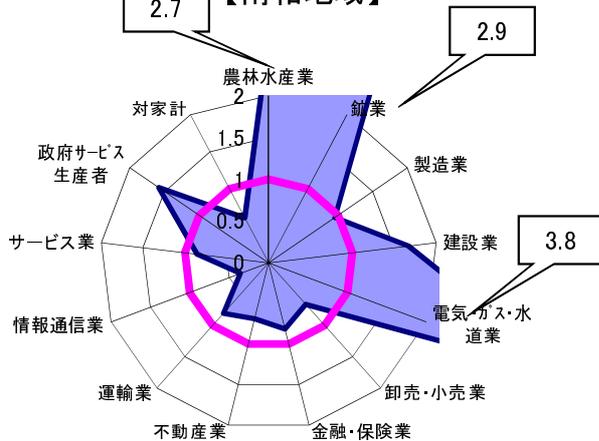
【檀原・高市地域】



【葛城地域】



【南和地域】



特化係数

特化係数は、各地域の各経済活動別構成比を県の構成比と比較して、県から見た相対的な偏りを表す指標です。
この値が1.0(県平均)を離れるほど、県と比較して特徴的な構成を示していることとなりますが、その産業の特化係数が高いからといって、その地域の主要産業であるとは限りません。

$$\text{特化係数} = \frac{\text{各地域の各経済活動別構成比}}{\text{県の各経済活動別構成比}}$$

※) 対家計＝対家計民間非営利サービス生産者

2 地域別の市町村民所得(名目)

1.地域別市町村民所得(総額)

○ 地域別市町村民所得が最も高いのは、奈良地域 1兆384億円。(県内シェア29.8%)

平成26年度の地域別市町村民所得は、奈良地域 1兆384億円、次いで葛城地域 5,833億円、生駒市 3,719億円、橿原・高市地域 3,420億円、王寺周辺地域 3,392億円、天理・磯城地域 2,552億円、大和郡山市 2,243億円、桜井・宇陀地域 1,865億円、南和地域 1,454億円となった。

図7 県民所得の地域別構成比(平成26年度)

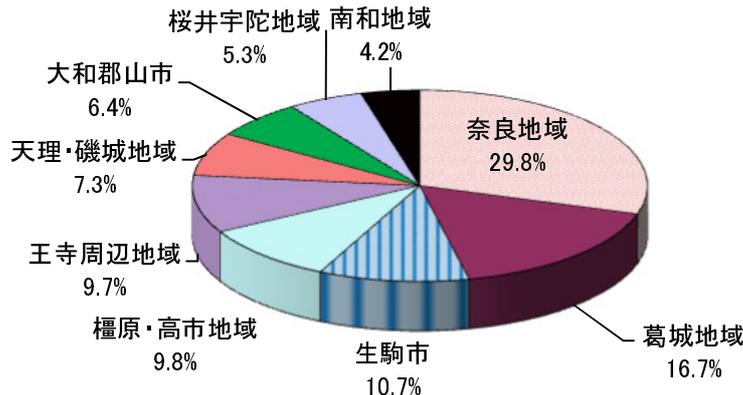


図8 地域別市町村民所得の要素別構成比(平成26年度)

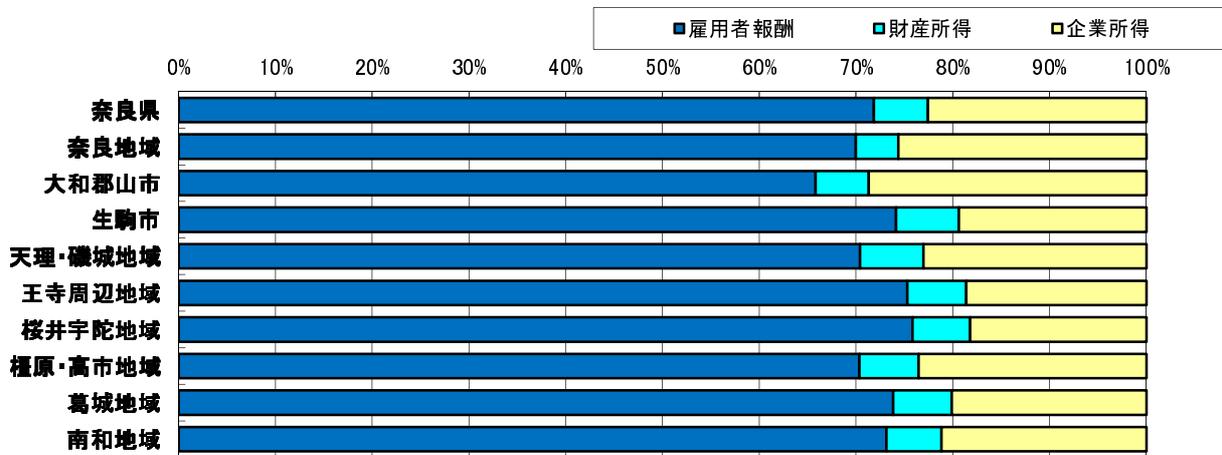


表3 地域別市町村民所得(平成26年度)

(単位:百万円)

	市町村民所得(分配)			雇用者報酬			財産所得			企業所得		
	県内でのシェア(%)	前年度比(%)		構成比(%)	前年度比(%)		構成比(%)	前年度比(%)		構成比(%)	前年度比(%)	
奈良県	3,486,255	100.0	0.5	2,505,058	71.9	1.5	194,999	5.6	5.2	786,198	22.6	▲ 3.6
奈良地域	1,038,390	29.8	▲ 0.2	726,881	70.0	1.0	45,744	4.4	2.1	265,765	25.6	▲ 3.7
大和郡山市	224,331	6.4	▲ 0.3	147,703	65.8	0.9	12,329	5.5	5.3	64,299	28.7	▲ 4.0
生駒市	371,861	10.7	1.4	275,728	74.1	1.8	24,148	6.5	4.8	71,985	19.4	▲ 1.1
天理・磯城地域	255,211	7.3	1.7	179,781	70.4	1.4	16,692	6.5	6.1	58,738	23.0	1.5
王寺周辺地域	339,242	9.7	0.7	255,525	75.3	0.9	20,635	6.1	5.4	63,082	18.6	▲ 1.6
桜井宇陀地域	186,495	5.3	▲ 0.8	141,467	75.9	0.4	11,134	6.0	6.0	33,894	18.2	▲ 7.3
橿原・高市地域	342,000	9.8	1.5	240,670	70.4	2.5	20,919	6.1	7.8	80,411	23.5	▲ 2.8
葛城地域	583,301	16.7	1.5	430,899	73.9	2.6	35,154	6.0	7.0	117,248	20.1	▲ 3.7
南和地域	145,423	4.2	▲ 3.2	106,403	73.2	0.7	8,244	5.7	7.0	30,776	21.2	▲ 16.4

2.地域別の1人当たり市町村民所得

○ 1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市 311万5千円。(対前年度比 + 1.7%)

平成26年度の地域別の1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市の311万5千円、次いで奈良地域の283万9千円、大和郡山市の257万9千円で、この3地域が1人当たり県民所得(253万4千円)を上回った。

一方、橿原・高市地域248万1千円、葛城地域241万9千円、王寺周辺地域241万円、天理・磯城地域の221万7千円、桜井宇陀地域199万円、南和地域193万8千円の6地域が、1人当たり県民所得を下回った。

対前年度増加率をみると、8地域がプラス、1地域がマイナスとなった。

なお、市町村民経済計算の示す所得とは、個人や企業、一般政府など各地域全体としての経済規模・活動状況を表したもので、個人の「所得」の状況を表したものではありません。

図9 地域別1人当たり市町村民所得と増減率

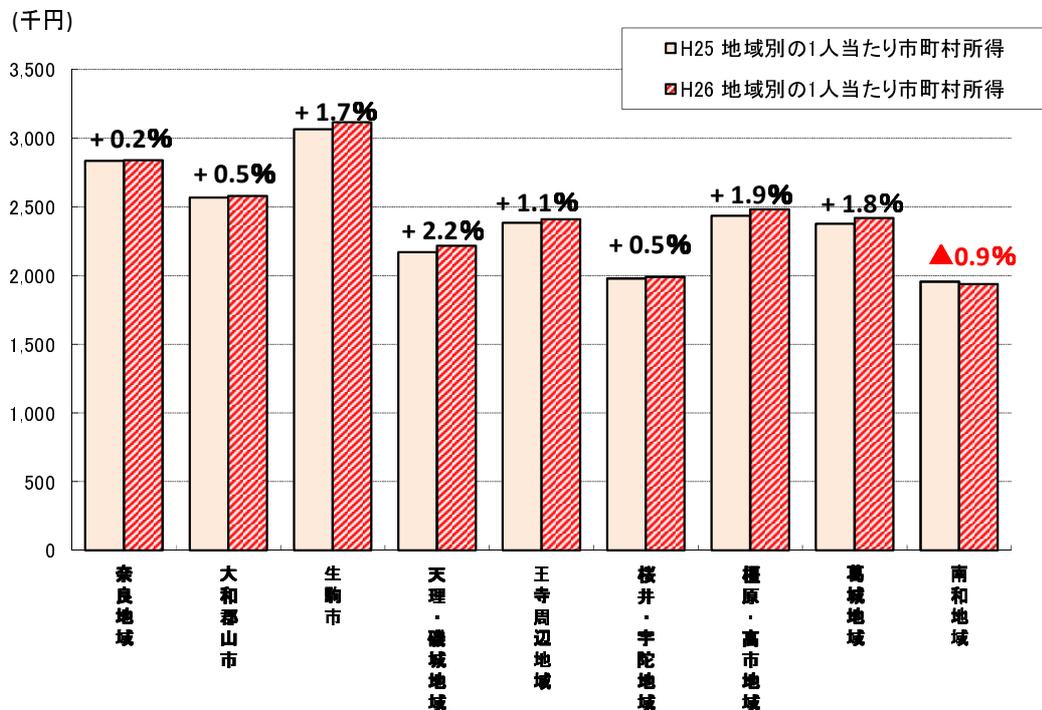


表4 地域別1人当たり市町村民所得の推移

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	実数(千円)	実数(千円)	前年度比(%)	実数(千円)	前年度比(%)									
奈良県	2,566	2,421	▲ 5.7	2,489	2.8	2,434	▲ 2.2	2,440	0.2	2,508	2.8	2,534	1.0	
奈良地域	2,911	2,772	▲ 4.8	2,853	2.9	2,735	▲ 4.1	2,742	0.3	2,833	3.3	2,839	0.2	
大和郡山市	2,644	2,507	▲ 5.2	2,585	3.1	2,554	▲ 1.2	2,552	▲ 0.1	2,567	0.6	2,579	0.5	
生駒市	3,209	3,036	▲ 5.4	3,084	1.6	2,985	▲ 3.2	3,000	0.5	3,063	2.1	3,115	1.7	
天理・磯城地域	2,225	2,058	▲ 7.5	2,066	0.4	2,121	2.7	2,118	▲ 0.2	2,170	2.5	2,217	2.2	
王寺周辺地域	2,535	2,347	▲ 7.4	2,386	1.7	2,338	▲ 2.0	2,336	▲ 0.1	2,384	2.0	2,410	1.1	
桜井・宇陀地域	2,034	1,907	▲ 6.2	1,977	3.7	1,933	▲ 2.3	1,933	0.0	1,980	2.4	1,990	0.5	
橿原・高市地域	2,435	2,281	▲ 6.3	2,355	3.2	2,310	▲ 1.9	2,322	0.5	2,435	4.9	2,481	1.9	
葛城地域	2,432	2,299	▲ 5.5	2,359	2.6	2,327	▲ 1.4	2,339	0.5	2,377	1.6	2,419	1.8	
南和地域	1,859	1,756	▲ 5.5	1,888	7.5	1,867	▲ 1.1	1,851	▲ 0.9	1,956	5.7	1,938	▲ 0.9	

Ⅲ 市町村別にみた平成26年度市町村民経済計算結果の概要

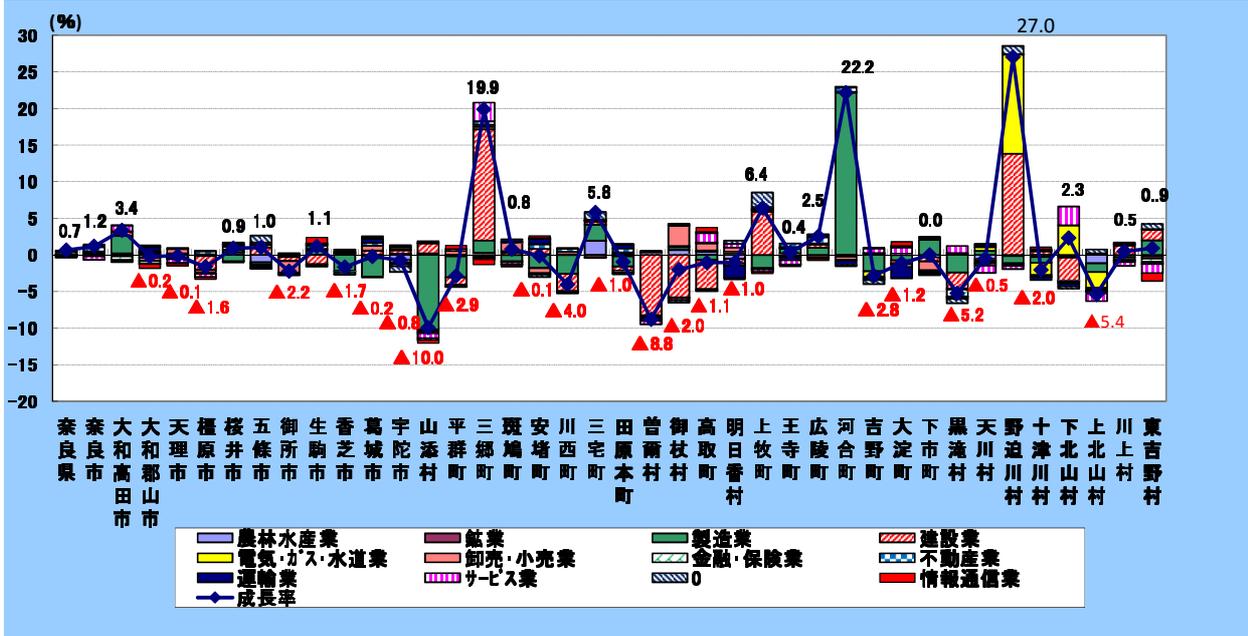
市町村別

1 市町村内総生産(名目)

1.市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度

- 実際の取引額で算出した平成26年度の名目成長率は、野迫川村、河合町、三郷町等の17の市町村でプラス。
- プラス成長の市町村(野迫川村、河合町等)は、建設業、電気・ガス・水道業や製造業等の寄与度がプラスとなったことが大きく、マイナス成長の市町村(山添村、曾爾村等)も、製造業や建設業等の寄与度がマイナスとなったことが大きい。

図 10 市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度 (H26年度)



2.市町村ごとの総生産(名目)

- 総生産の県内シェアは奈良市が一番大きく、28.8%。以下、大和郡山市(10.4%)、橿原市(9.6%)、生駒市(6.4%)等の市がつづく。
- 町村の中では、田原本町(2.3%)が一番大きく、以下、広陵町(1.7%)、王寺町(1.5%)がつづく。

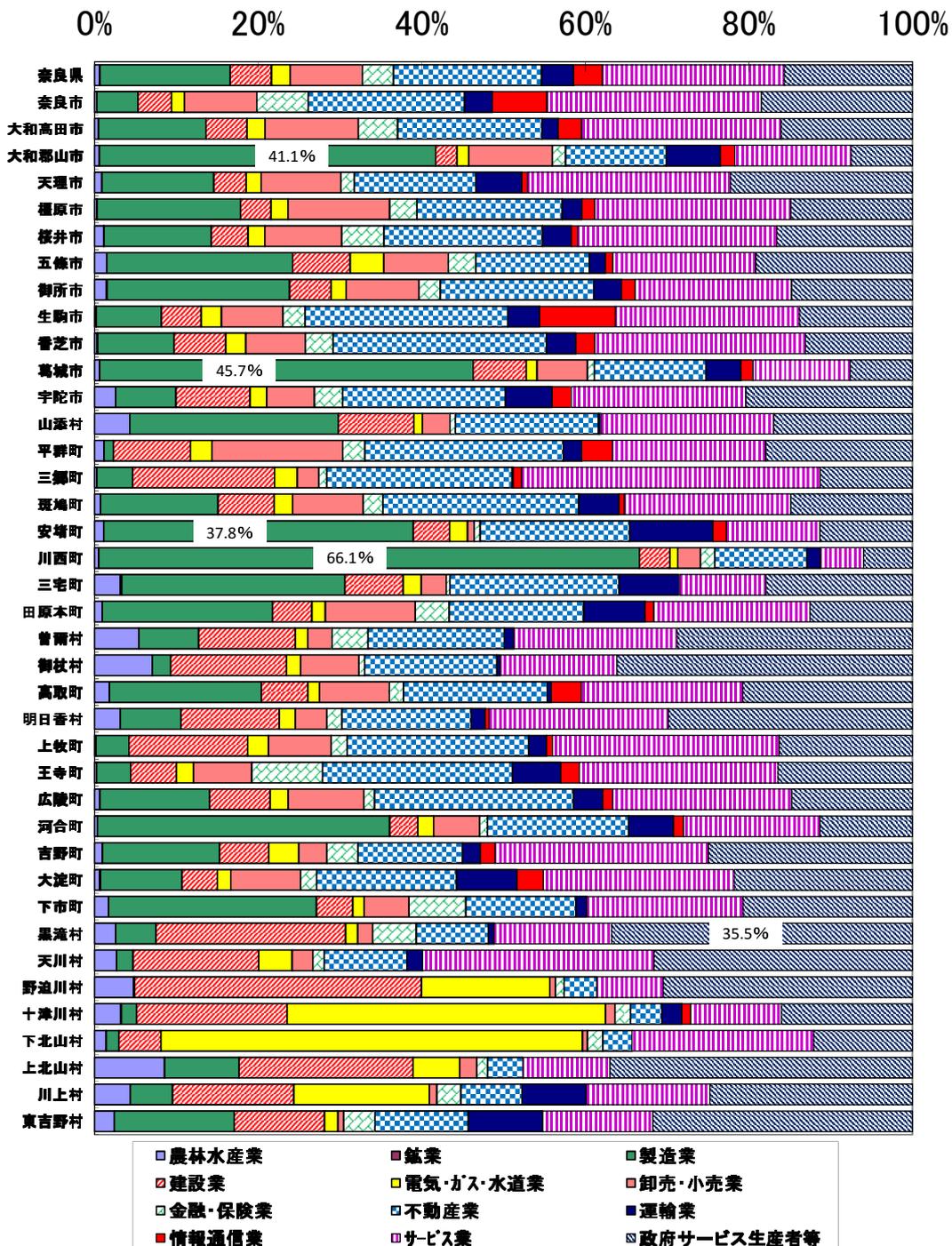
表 5 市町村ごとの総生産(名目)と県内シェア等 (H26年度)

	H25年度	H26年度	成長率	県内シェア		H25年度	H26年度	成長率	県内シェア
奈良県	3,517,701	3,540,714	0.7	100.0	田原本町	81,380	80,603	▲ 1.0	2.3
奈良市	1,007,092	1,018,692	1.2	28.8	曾爾村	4,120	3,757	▲ 8.8	0.1
大和高田市	140,983	145,736	3.4	4.1	御杖村	3,738	3,663	▲ 2.0	0.1
大和郡山市	370,108	369,345	▲ 0.2	10.4	高取町	17,156	16,974	▲ 1.1	0.5
天理市	199,957	199,688	▲ 0.1	5.6	明日香村	12,223	12,095	▲ 1.0	0.3
橿原市	346,400	340,738	▲ 1.6	9.6	上牧町	35,903	38,198	6.4	1.1
桜井市	123,299	124,404	0.9	3.5	王寺町	54,249	54,443	0.4	1.5
五條市	92,415	93,345	1.0	2.6	広陵町	59,547	61,041	2.5	1.7
御所市	70,004	68,453	▲ 2.2	1.9	河合町	37,579	45,903	22.2	1.3
生駒市	225,238	227,732	1.1	6.4	吉野町	23,251	22,594	▲ 2.8	0.6
香芝市	130,954	128,752	▲ 1.7	3.6	大淀町	42,695	42,200	▲ 1.2	1.2
葛城市	123,842	123,587	▲ 0.2	3.5	下市町	14,098	14,100	0.0	0.4
宇陀市	58,049	57,613	▲ 0.8	1.6	黒滝村	2,234	2,117	▲ 5.2	0.1
山添村	12,566	11,315	▲ 10.0	0.3	天川村	5,314	5,286	▲ 0.5	0.1
平群町	29,859	28,999	▲ 2.9	0.8	野迫川村	2,294	2,914	27.0	0.1
三郷町	32,532	38,999	19.9	1.1	十津川村	21,426	20,987	▲ 2.0	0.6
斑鳩町	42,880	43,213	0.8	1.2	下北山村	7,915	8,098	2.3	0.2
安堵町	17,183	17,162	▲ 0.1	0.5	上北山村	2,745	2,596	▲ 5.4	0.1
川西町	44,915	43,096	▲ 4.0	1.2	川上村	5,754	5,781	0.5	0.2
三宅町	11,168	11,817	5.8	0.3	東吉野村	4,636	4,678	0.9	0.1

3. 市町村内総生産の経済活動別構成比

- 「製造業」の構成比の一番高い市町村は、川西町(66.1%)。以下、葛城市(45.7%)、大和郡山市(41.1%)、安堵町(37.8%)となっている。
- 「政府サービス生産者等」の比率が高い市町村は、黒滝村(35.5%)をはじめ吉野郡、宇陀郡の町村に多い。

図 11 市町村内総生産の経済活動別構成比 (H26年度)



注 1) 輸入品にかかる税・関税等を加算する前の構成比で比較
 注 2) 一般政府等 = 政府サービス生産者 + 対家計民間非営利サービス生産者

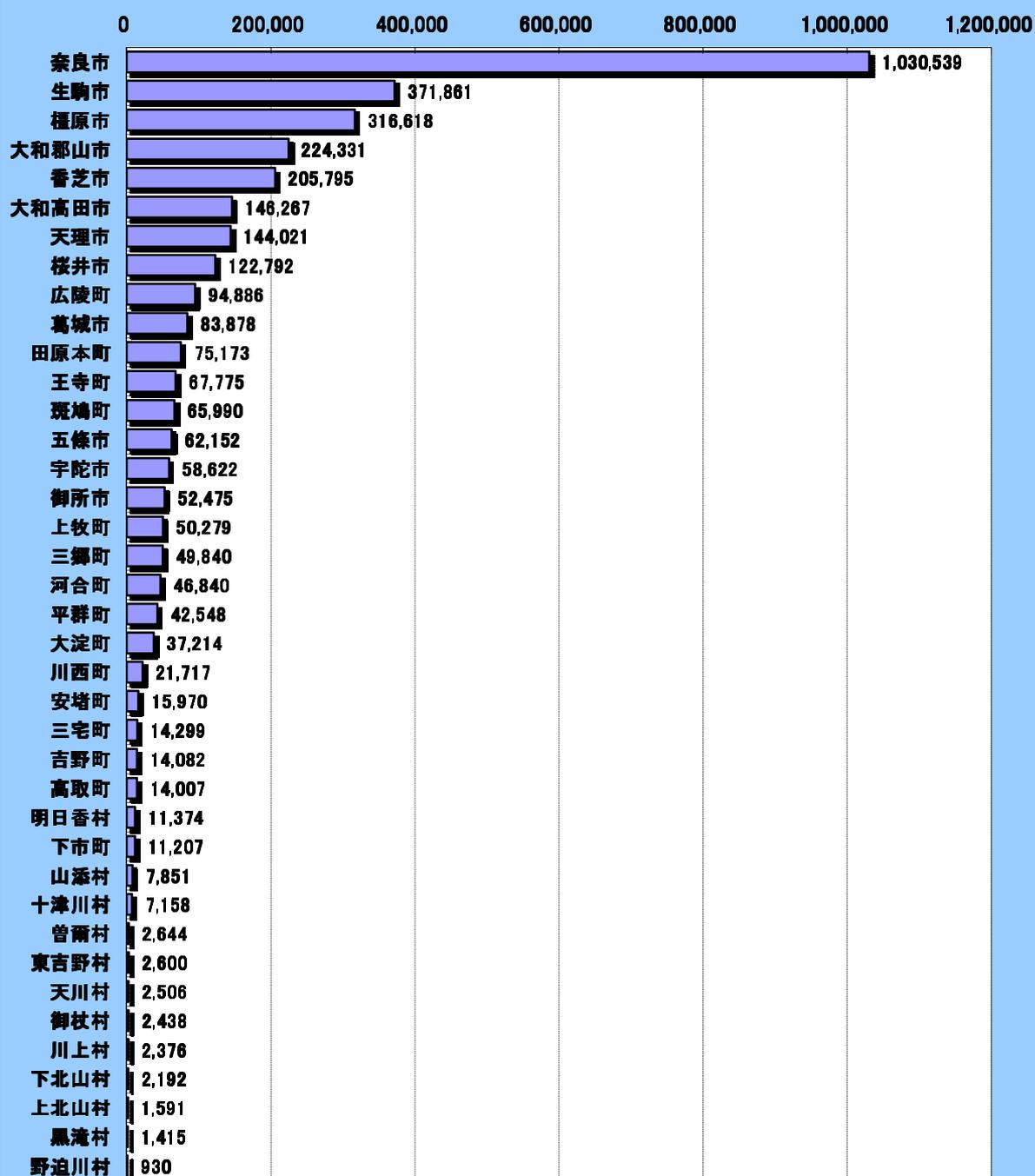
2 市町村民所得(名目)

1.市町村ごとの市町村民所得(総額)

○ 奈良市が1兆305億円で最も高く、次いで生駒市 3,719億円、橿原市 3,166億円と続く。

図12 市町村民所得(平成26年度)

(百万円)



注) 1人当たり市町村民所得＝

雇⽤者所得+財産所得+企業所得(企業の利潤等)の合計を市町村人口で除したものであり、**給料等の水準を表すものではありません。**

2.市町村ごとの1人当たり市町村民所得

- 奈良県の1人当たり県民所得を上回るのは、生駒市(3,115千円)、王寺町(2,985千円)、奈良市(2,846千円)等、8市町村。
- 大阪府等への通勤者が多く、大阪府等から雇⽤者報酬を得ている市町村が、県水準を上回っている。

図 13 1人当たり市町村民所得 (H26年度)

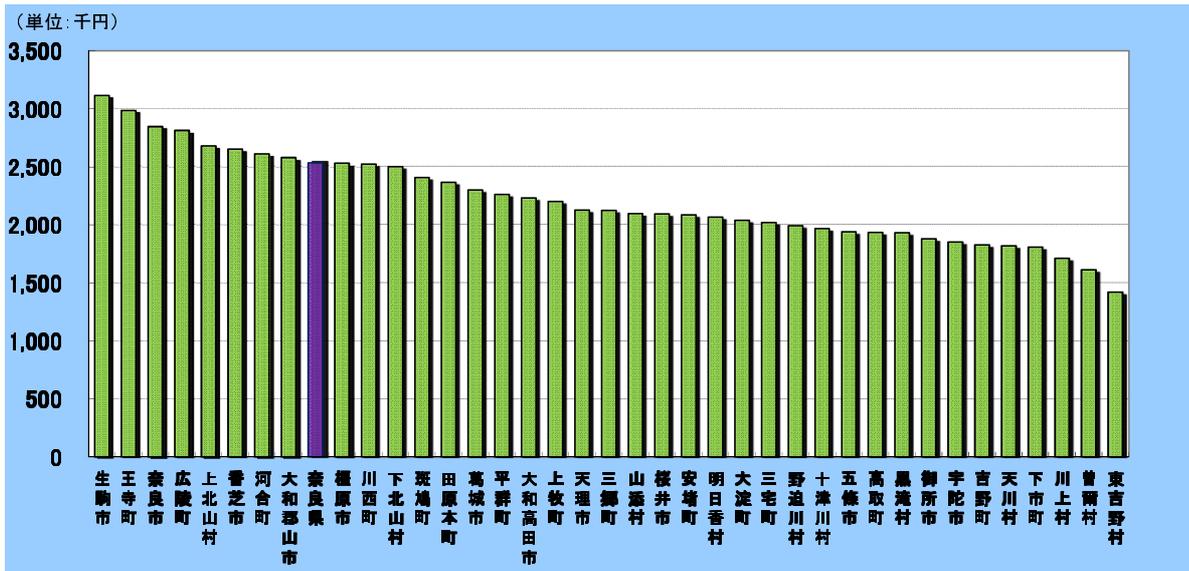


表 6 市町村ごとの1人当たり市町村民所得 (H26年度)

(単位:千円、%)

	H25年度	H26年度	増減率	水準
奈良県	2,508	2,534	1.0	100.0
奈良市	2,842	2,846	0.1	112.3
大和高田市	2,171	2,233	2.9	88.1
大和郡山市	2,567	2,579	0.5	101.8
天理市	2,082	2,129	2.3	84.0
橿原市	2,483	2,531	1.9	99.9
桜井市	2,083	2,095	0.6	82.7
五條市	1,966	1,941	▲1.3	76.6
御所市	1,835	1,881	2.5	74.2
生駒市	3,063	3,115	1.7	122.9
香芝市	2,616	2,653	1.4	104.7
葛城市	2,313	2,301	▲0.5	90.8
宇陀市	1,853	1,853	0.0	73.1
山添村	2,044	2,097	2.6	82.8
平群町	2,291	2,263	▲1.2	89.3
三郷町	2,078	2,125	2.3	83.9
斑鳩町	2,367	2,409	1.8	95.1
安堵町	2,071	2,086	0.7	82.3
川西市	2,585	2,525	▲2.3	99.6
三宅町	1,964	2,019	2.8	79.7

(単位:千円、%)

	H25年度	H26年度	増減率	水準
田原本町	2,292	2,367	3.3	93.4
曾爾村	1,564	1,614	3.2	63.7
御杖村	1,276	1,323	3.7	52.2
高取町	1,909	1,936	1.4	76.4
明日香村	2,041	2,067	1.3	81.6
上牧町	2,144	2,202	2.7	86.9
王寺町	3,016	2,985	▲1.0	117.8
広陵町	2,758	2,813	2.0	111.0
河合町	2,555	2,611	2.2	103.0
吉野町	1,816	1,829	0.7	72.2
大淀町	2,027	2,041	0.7	80.5
下市町	1,847	1,809	▲2.1	71.4
黒滝村	1,949	1,932	▲0.9	76.2
天川村	1,771	1,821	2.8	71.9
野迫川村	2,162	1,992	▲7.9	78.6
十津川村	2,224	1,969	▲11.5	77.7
下北山村	2,386	2,501	4.8	98.7
上北山村	2,444	2,680	9.7	105.8
川上村	1,676	1,711	2.1	67.5
東吉野村	1,473	1,422	▲3.5	56.1